様式２

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	50　大修館	第１・２・３学年	保体・727	保健体育

取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　保健分野 「心身の機能の発達と心の健康」については、年齢による身長や呼吸数、心拍数の変化について考えたり、成功の経験を通して育まれた自分らしさを話し合ったりする活動、「健康と環境」については、環境が健康に悪影響を及ぼしている身近な例を挙げたり、井戸水の汚染があった場合の健康上の影響を話し合ったりする活動、「傷害の防止」については、倒れている人を見付けたときの適切な行動を考えたり、自分と家族のための防災計画を立てたりする活動、「健康な生活と疾病の予防」については、たばこの広告のイメージなどを考えたり、薬物の害について話し合ったりする活動を通して、目標を達成できるようになっている。 ○　体育分野 安静時の自分とマラソンランナーの心拍数の違いについて考えたり、野外活動を安全に行うために、行動ごとの危険な状況を予測したりする活動を通して、運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 保健分野において、特定の食物による食物アレルギーの症状やアドレナリン自己注射薬の使い方など応急手当の仕方を考える活動、体育分野において、種目を決め、仲間を思いやりながら協力して、誰もが納得して楽しめるルールをつくるなど、学習したことを生かして知識を活用する学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 保健分野において、第1学年体育分野で学習した運動やスポーツの効果を振り返る学習の後に、運動不足の影響や運動と心の健康を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性や学び方を踏まえ、達成感や意欲の向上などの運動やスポーツの心への効果を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 保健分野については123ページで前回より約14%増、体育分野については42ページで前回より約19%減、総ページ数は165ページで前回より約3%増となっている。
使用上の配慮等	○　各単元の初めに学習の動機付けとなる発問を掲載したり、欄外に、その項目に関連したインターネットページを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「Try」、「Challenge」において、学習課題を提示したり、各章の最後に「学習のまとめ」のページを掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○　巻頭で学習の流れやマークの解説を示した教科書の使い方や学習の方法を掲載するとともに、図版の中の大事なポイントを吹き出しにして示したり、全ての生徒が学習しやすいよう判読しやすいフォントにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　北海道と関連のある教材は、口絵の冬季オリンピック道内選手写真など４箇所取り上げられている。 ○　各項目の冒頭に、学習の動機付けとなる導入発問が設けられ自主的・自発的な学びにつながるよう工夫されている。 ○　自分の問題として考えさせる課題や生活に関連したページが設けられ、学んだ知識が実生活に生かされるような工夫がなされている。